



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
コード番号 5852 URL <https://www.ahresty.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高橋 新一
問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員管理本部長 （氏名）成家 秀樹 TEL 03-6369-8660
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	123,396	3.2	3,178	245.0	2,590	134.5	3,487	—
2025年3月期第3四半期	119,587	0.7	921	△43.9	1,104	△39.1	△1,688	—

（注）1. 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,711百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 △937百万円（－％）

（参考）EBITDA 2026年3月期第3四半期 11,755百万円（22.5％） 2025年3月期第3四半期 9,597百万円（△14.1％）

（※）EBITDA＝営業損益＋減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	140.61	139.67
2025年3月期第3四半期	△67.81	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	134,322	53,035	39.4
2025年3月期	134,094	51,989	38.7

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 52,918百万円 2025年3月期 51,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2026年3月期	—	16.00	—		
2026年3月期（予想）				16.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	162,200	△0.4	3,600	6.8	2,200	△27.7	2,300	—	92.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	25,546,717株	2025年3月期	25,546,717株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	606,063株	2025年3月期	745,511株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	24,803,696株	2025年3月期3Q	24,902,156株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結範囲の重要な変更)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の高関税政策や中東、欧州を中心とした地政学リスク等の影響を受けながらも、AI関連投資の拡大、各国による緩和的な金融政策や株高による資産効果が下支えとなり、緩やかな成長基調を維持する見通しとなりました。米国経済は、関税影響が徐々に顕在化したものの、データセンター投資の急拡大や株高の支えもあって景気は緩やかに拡大する一方、米国企業の慎重な関税影響の価格転嫁やサービス物価の減速により、消費者物価の伸びが鈍化しました。中国経済は、不動産市場の調整継続や消費刺激策の効果剥落などにより内需が弱く推移する一方、対米関税の一部引き下げや第三国への輸出拡大が下支えとなり政府目標の2025年経済成長率5%を達成する見通しとなりました。日本経済は、米国による高関税政策による輸出の弱含みが続いたものの、エネルギー価格の下落によるコスト負担の軽減や賃上げ基調の定着を背景に個人消費、企業収益とも底堅く推移しました。2026年度も総合経済対策の効果もあって、内需を中心に景気は底堅く推移する見込みとなっています。

このような経済状況の中、当社グループでは、2030年を目標年度とする長期経営計画である10年ビジネスプランと、2025年度より新たにスタートした25-27中期経営計画を推進しております。25-27中期経営計画では、「Reinvent Ahresty ～未来に向けてアーレスティを再発明する～」をコンセプトとして、当社のものづくりの継承と再構築を念頭としたSMARTなものづくりの追求、自動車の電動化を見据えた製品ポートフォリオの見直し、CO2削減活動の加速、製品の開発リードタイムの短縮、および従業員エンゲージメントやダイバーシティの推進等を柱としています。加えて「資本コストや株価を意識した経営」実現のための財務運営指針となる財務戦略を運営していくことで財務体質と経営基盤の強化を図り、自己資本比率40%、配当性向35%、設備投資1,400億円、ROE9%達成を10年ビジネスプラン期間における4本柱の財務目標として掲げております。

上記経済状況と戦略の下、当社は各国・地域の自動車会社向け販売量の変動に合わせた操業体制や人員体制の適正化、昨年度大きな赤字を計上した米国工場の再建、労務費やエネルギー価格上昇影響等の価格反映について継続的に取り組み、基礎的収益力の向上に努めました。これら構造改革効果の着実な刈り取りに加え、受注量の回復も寄与し、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高123,396百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益3,178百万円（前年同四半期比245.0%増）、経常利益2,590百万円（前年同四半期比134.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,487百万円（前年同四半期は1,688百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、国内自動車生産の回復等に伴い受注量が増加した結果、売上高は50,498百万円（前年同期比6.4%増）となりました。収益面においては、受注量の増加に加えて前期に実施した人員規模適正化による固定費の圧縮等も奏功し、セグメント利益は1,708百万円（前年同期比84.2%増）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場では、新規製品の量産が開始したこと等による受注量の増加により、売上高は39,334百万円（前年同期比4.1%増）となりました。収益面においては、米国工場での人件費等の製造コストの上昇が継続している一方、前期の減損損失計上による減価償却費の減少等により、セグメント利益は342百万円（前年同期はセグメント損失1,125百万円）となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

アジア自動車市場では、中国工場の第2四半期以降（4月～9月）において、一部主要顧客の販売減少に伴い受注量が減少しましたが、インド工場の受注量が堅調に推移した結果、売上高は26,114百万円（前年同期比3.1%増）となりました。収益面においては、インド工場での一部製品の生産が安定しないことに伴う生産コストの増加影響はあったものの、中国工場における生産体制の合理化や固定費の削減が奏功した結果、セグメント利益は579百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売重量が前年同期比9.1%減となったことにより、売上高は4,769百万円（前年同期比10.5%減）となりました。収益面においては、仕入価格の低下により、セグメント利益は179百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業の大型クリーンルーム物件の受注が前年同期比で減少したことにより、売上高は2,680百万円（前年同期比27.3%減）となりました。収益面においては、売上高の減少影響により、セグメント利益は334百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は134,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円の増加となりました。流動資産は65,453百万円で、前連結会計年度末に比べ1,338百万円の増加となり、その主な要因は、売上債権が706百万円減少した一方、現金及び預金が1,468百万円、棚卸資産が48百万円増加したことによるものです。固定資産は68,869百万円で、前連結会計年度末に比べ1,110百万円の減少となり、その主な要因は、投資有価証券が607百万円増加した一方、有形固定資産が2,155百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は81,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ818百万円の減少となりました。流動負債は57,836百万円で、前連結会計年度末に比べ5,833百万円の減少となり、その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が1,914百万円、仕入債務が1,563百万円、短期借入金が1,201百万円、賞与引当金が609百万円減少したことによるものです。固定負債は23,450百万円で、前連結会計年度末に比べ5,015百万円の増加となり、その主な要因は、長期借入金が5,002百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は53,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,046百万円の増加となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定が2,190百万円減少した一方、利益剰余金が2,644百万円、その他有価証券評価差額金が415百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末38.68%から39.40%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、2025年10月28日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,546	15,015
受取手形、売掛金及び契約資産	30,361	30,084
電子記録債権	3,584	3,154
商品及び製品	5,427	5,335
仕掛品	5,920	5,911
原材料及び貯蔵品	3,867	4,016
その他	1,530	2,042
貸倒引当金	△124	△107
流動資産合計	64,114	65,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,831	13,818
機械装置及び運搬具（純額）	32,155	31,000
土地	5,163	5,131
建設仮勘定	8,824	7,137
その他（純額）	6,157	5,888
有形固定資産合計	65,132	62,976
無形固定資産	1,299	1,227
投資その他の資産		
投資有価証券	1,460	2,067
その他	2,101	2,611
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	3,547	4,665
固定資産合計	69,979	68,869
資産合計	134,094	134,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,428	12,962
電子記録債務	9,193	10,095
短期借入金	18,288	17,086
1年内返済予定の長期借入金	8,564	6,650
未払法人税等	376	298
契約負債	1,492	1,457
賞与引当金	1,654	1,044
製品保証引当金	246	256
株主優待引当金	39	11
その他	8,385	7,973
流動負債合計	63,669	57,836
固定負債		
長期借入金	13,290	18,292
長期未払金	114	108
退職給付に係る負債	2,025	2,067
その他	3,004	2,982
固定負債合計	18,435	23,450
負債合計	82,105	81,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,964	6,964
資本剰余金	10,206	10,240
利益剰余金	18,754	21,399
自己株式	△529	△386
株主資本合計	35,395	38,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	696	1,112
為替換算調整勘定	15,087	12,897
退職給付に係る調整累計額	691	690
その他の包括利益累計額合計	16,476	14,700
新株予約権	117	117
純資産合計	51,989	53,035
負債純資産合計	134,094	134,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	119,587	123,396
売上原価	109,704	110,808
売上総利益	9,882	12,588
販売費及び一般管理費	8,961	9,409
営業利益	921	3,178
営業外収益		
受取利息	143	108
受取配当金	46	58
為替差益	95	—
スクラップ売却益	290	124
その他	81	71
営業外収益合計	656	363
営業外費用		
支払利息	412	554
シンジケートローン手数料	—	140
為替差損	—	196
その他	60	59
営業外費用合計	473	951
経常利益	1,104	2,590
特別利益		
固定資産売却益	37	100
投資有価証券売却益	40	—
関係会社株式売却益	—	1,109
補助金収入	108	105
特別利益合計	186	1,315
特別損失		
固定資産除売却損	122	122
製品保証費用	90	—
特別退職金	1,012	—
特別損失合計	1,226	122
税金等調整前四半期純利益	64	3,782
法人税、住民税及び事業税	725	714
法人税等調整額	1,027	△418
法人税等合計	1,753	295
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,688	3,487
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,688	3,487

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,688	3,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	415
為替換算調整勘定	773	△2,190
退職給付に係る調整額	38	△1
その他の包括利益合計	751	△1,776
四半期包括利益	△937	1,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△937	1,711
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更)

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であった阿雷斯提精密模具（広州）有限公司の出資持分の全部を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の処分)

当社は、2025年6月27日開催の取締役会において取締役及び執行役員に対する株式報酬としての自己株式の処分を決議し、当第3四半期連結累計期間に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式は49百万円（69,451株）減少しました。

また、2025年8月8日開催の取締役会において従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分を決議し、当第3四半期連結累計期間に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式は94百万円（148,500株）減少しました。

(追加情報)

(従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分について)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会において、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度（以下「本制度」といいます。）に基づき、下記のとおり、アーレスティ従業員持株会（以下「本持株会」といいます。）を割当予定先として、譲渡制限付株式としての自己株式の処分（以下「本自己株式処分」又は「処分」といいます。）を行うことについて決議し、処分を実施しました。

1. 自己株式の処分の概要

(1) 処分期日	2025年12月12日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 148,500株
(3) 処分価額	1株につき 850円
(4) 処分総額	126百万円
(5) 処分方法（割当先）	第三者割当の方法による (アーレスティ従業員持株会 148,500株)

2. 処分の目的及び理由

当社は、2025年度より新たにスタートした25-27中期経営計画において、「Reinvent Ahresty ～未来に向けてアーレスティを再発明する～」をコンセプトとして、継承と再構築をキーワードにものづくりの在り方及び収益構造について抜本的な変革を推進してまいります。この変革を実現するためには、当社の従業員が中期経営計画に主体的に参画することが不可欠であると認識しております。このため当社は、従業員一人ひとりが変革の担い手となることを促す一環として、対象従業員が本持株会を通じて、当社が発行又は処分する当社普通株式を譲渡制限付株式として取得する機会を創出することとし、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを対象従業員に与えること、対象従業員が当社の株主との一層の価値共有を進めること、および対象従業員の財産形成の一助とすることを目的として、本制度を導入することを2025年8月8日開催の取締役会において決議いたしました。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

1. 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	285百万円	504百万円

※2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
受取手形	－百万円	21百万円

※3. 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
建物及び構築物	－百万円	3,759百万円
土地	－	4,068
計	－	7,827

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
長期借入金	－百万円	10,300百万円
計	－	10,300

※4. 財務制限条項

前連結会計年度(2025年3月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間(2025年12月31日)

長期借入金10,300百万円について財務制限条項が付されており、当該条項は以下のとおりです。

- (1) 2025年9月中間期以降、各年度の決算期の末日及び中間期の末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を2025年3月決算期末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%及び直前の決算期末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%のいずれか高い方の金額以上に維持すること。
- (2) 2026年3月期決算以降の決算期を初回の決算期とする連続する2期について、各年度の決算期における連結の損益計算書に示される経常損益が2期連続して損失とならないようにすること。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1. 特別退職金

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

特別退職金は、当社東海工場及び(株)アーレスティ栃木において、国内拠点の人員規模適正化を目的として実施した希望退職募集に係る特別退職加算金等672百万円及び広州阿雷斯提汽车配件有限公司、阿雷斯提精密模具(広州)有限公司において、今後の需要動向の変動に鑑みて生産体制の合理化を目的とした早期退職者への特別退職金340百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

※2. 関係会社株式売却益

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社の連結子会社である阿雷斯提精密模具(広州)有限公司の出資持分の全部を譲渡したことに伴い、関係会社株式売却益1,109百万円を計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	8,676百万円	8,576百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	47, 481	37, 773	25, 318	5, 326	3, 686	119, 587
外部顧客への売上高	47, 481	37, 773	25, 318	5, 326	3, 686	119, 587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4, 145	3	1, 567	3, 380	18	9, 115
計	51, 627	37, 776	26, 886	8, 706	3, 704	128, 702
セグメント利益又は損失（△）	927	△1, 125	533	162	568	1, 066

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,066
セグメント間取引消去	△145
四半期連結損益計算書の営業利益	921

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	50,498	39,334	26,114	4,769	2,680	123,396
外部顧客への売上高	50,498	39,334	26,114	4,769	2,680	123,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,175	11	1,489	2,692	2	7,372
計	53,674	39,346	27,604	7,461	2,682	130,769
セグメント利益	1,708	342	579	179	334	3,142

(注) 「ダイカスト事業 アジア」セグメントに分類しておりました阿雷斯提精密模具(広州)有限公司については、当第3四半期連結累計期間において出資持分の全部を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。同社の売上高並びにセグメント利益又はセグメント損失の金額については、連結除外日までの実績を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,142
セグメント間取引消去	35
四半期連結損益計算書の営業利益	3,178

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。